

# 地域ケア推進会議

鹿児島市地域包括支援センター 上町

## 【計画】

作成担当者： 米森 貴子

開催日時	令和01年11月01日 14:00 ~ 15:30	開催場所	清水町公民館
参加者	民生委員：2人、コミュニティ協議会：2人、社会福祉法人：3人、社会福祉協議会：1人、病院相談員：1人、保健センター保健師：1人、居宅介護支援事業所・デイサービス事業所代表者：1人、地域包括支援センター職員：9人		
	総数 20人		
内容	テーマ	1. 介護サービス事業所活用支援事業調査結果報告について 2. 地域課題とニーズについて(グループ討論) 3. 認知症地域支援推進員より	
	目的	地域包括支援ネットワークの構築、地域課題の発見、地域づくり・資源開発	
	概要	1. 介護サービス事業所の地域支援に関する取組意向等調査の結果を生活支援コーディネーターより説明。空きスペース、人材の提供など協力体制ができる介護サービス事業所と地域の困り事とのマッチングを行う意向を説明。 2. 地域課題の現状確認 「清水」「大竜」「名山」地区別にグループに分かれ、グループ討議を行う。 3. 認知症地域支援推進員より、認知症カフェの立ち上げへの進捗状況を報告。	

## 【結果】

開催日時	令和01年11月01日 14:00 ~ 15:30	開催場所	清水町公民館
参加者	民生委員：2人、コミュニティ協議会：2人、社会福祉法人：3人、社会福祉協議会：1人、病院相談員：1人、保健センター保健師：1人、居宅介護支援事業所・デイサービス事業所代表者：1人、地域包括支援センター職員：9人		
	総数 20人		
内容	2. 地域課題と把握について ①各項目ごとに出されていない新たな課題、新たな地域の強みはないか？ 清水：「地域の強み」としては、町内会加入率が66%であり地元出身者が多く、集いの場も充足している。「地域課題」としては坂道が多く、移動手段はバスかタクシーが主になり、車があっても福祉館の駐車場が少ない。また集いの場の参加者が偏り、地元の人でなくても行きやすい交流の場が少ないことがわかった。 大竜：「地域の強み」としては、支え手では、吉田葬祭や南風病院など地域貢献協力があることや、南風病院や今給黎総合病院など大きな病院があり、住民の安心となっていること。「地域課題」としては集いの場の項目として、歩いていくことができない高齢者や、男性参加者が少ないこと。移動手段については、坂が多い地区は移動手段がないことがわかった。 名山：「地域の強み」としては、天文館も近く、買い物できる店が多数あり、山形屋などが集まる場となっていること。商売経験者が多く、現役時代の技術を持っている高齢者が多いこと。「地域課題」としては、マンションが多く町内会に加入せず、他人に頼らないと考える人が多く、住民の把握に苦慮すること。公民館が少ない為、災害時の緊急対応が困難なことがわかった。 ②地域課題の多い項目について、優先度の高い地域課題はどこか？ 清水：「移動・交通」にて、狭い坂道が多く、外出手段に苦慮している高齢者が多いことを踏まえ、まちづくり協議会や町内会で検討していくこと。「集いの場」では集まる場所までの交通手段も問題であるが、北海道物産展にはタクシーを使用してでも行く高齢者が多いことから、収穫した野菜の即売会や山形屋の弁当を食べましょうなど集まりの内容が大事ではないか？ 大竜：「移動手段」については、坂が多い地区は移動手段がないことから、町内会でタクシー代の一部補助なども検討していく。「見守り・災害対策」として、避難場所の物資の問題や、高齢者が避難できる場所の問題もあるため、生活支援コーディネーターの説明にあった事業所の協力を利用できないか？ 名山：「支え手」として、人付き合いが煩わしいと考える住民が多いが、元気なうちに集まれるような関係性を構築していく必要性ある。「集いの場」としては、現役時代の技術を生かせるような仕組み作りが必要。鹿児島駅のリニューアルに合わせて、かんまちあを含めたコミュニティ形成ができないか？		
	今後の課題など	清水、大竜、名山地区それぞれの地域の強み・課題特徴が抽出できた。介護サービス事業所と地域の困り事とのマッチングも含め、地域づくりへの対応を検討していく。	